



開園30周年

# にじのはし幼稚園 園だより



令和8年9月号  
港区立にじのはし幼稚園  
園長 飯田 美 弥

それぞれの場所で過ごした夏を終えて、元気な子どもたちの声が幼稚園中に響く日々が戻ってきます。夏季休業中はいかがお過ごしでしたでしょうか。今年の夏は暑さが落ち着く日がしばらく続いていたものの、9月が近づくにつれて、暑さがぶり返してきているようです。また、今年も地震や局地的な大雨などの災害に合われた地域がありました。ご親戚やお知り合いの方で被災された方もいるかもしれません。心よりお見舞い申し上げます。先日は関東地方でも夜中に大きな地震がありました。園でも避難訓練を含めて災害への備えをしっかりとしていきたいと改めて気を引き締めているところです。

さて、今年の夏訪れた神社に、「東照公御遺訓」というものが掲げられていました。何気なく眺めていたところ、目に留まった文言がありました。それは、「不自由を常とおもへば不足なし」というものでした。一度通り過ぎたのですが、もう一度戻ってその文言を確認し、反芻しました。これは、「思い通りにならないこと（不自由）が当たり前（常）だと考えていけば、不満（不足）を感じることはない」という教えだそうです。日々の生活の中で電気が使えたり雨風をしのげる場所があったりすること、交通機関が動いていることなど、当たり前と感じていることは当たり前ではなく有難いことだということを、今回の大雨や地震の際に再確認しました。

子どもたちとの生活も、思い通りにならないことが多く、むしろそれが保育の面白さだとも言えます。教師は、幼児の姿を読み取りながら、経験してほしい環境を整え、幼児の主体性を大切に保育をすすめています。予測通りにいかないことの方が多いものです。でも、それが当たり前だと考えた上で、どうしていくかを試行錯誤していくところに、教師の仕事の醍醐味があると思います。夏には教師の研修の機会がたくさんあり、子どもたちとの生活にどう生かすかワクワクしている先生たちです。2学期も、幼児の姿をしっかりと受け止めた上で、よりよい成長につながる保育を実践していきます。

また、2学期には30周年記念集会、30周年記念式典など、周年にまつわる行事が続きます。地域の方々に支えられて園があることに感謝し、お祝いの気持ちを高めていきたいと思います。

2学期も引き続き本園へのご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

## 幼稚園経営計画 今年度の主な取り組みからの抜粋

(2)教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、遊びや生活を通した豊かな学びを保障します。

②幼児が主体的に場やもの、人に関わって遊ぶ環境の構成や、幼児の興味や関心、発達や時季を踏まえた教材を工夫します。体験の多様性と関連性を踏まえた環境を意識し、学びが深まる豊かな体験を保障します。

⑥今年度は開園30周年の年にあたるため年間行事にも自然に組み込みながら、少しずつ30周年らしさを感じられるようにし、一年を通して祝う気持ちや感謝の気持ちを育めるようにします。

(3)幼児の自発的な活動としての遊びを十分に確保し、幼児期にふさわしい生活を通して「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を育みます。

①遊びに没頭し、心動かされる多様な経験の中で、幼児が様々な感じ、気付き、考えたことを表現する経験や、試行錯誤・振り返りの経験を積み重ね、知的好奇心を高めながら、豊かな感性と創造力を育み、思考力の芽生えを培います。